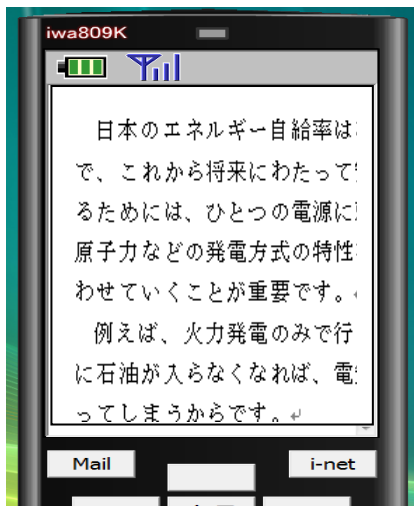


夏休みの課題と同じ内容を見つけました。

この情報をあなたはどのように利用しますか？



拡大

「なぜ、日本は数種類の発電方法を行っているのか」

日本のエネルギー自給率はわずか4%。こうした背景の中で、これから将来にわたって安定して経済的に電気を供給するためには、ひとつの電源に頼るのではなく、水力、火力、原子力などの発電方式の特性を活かし、バランスよく組み合わせることが重要です。

例えば、火力発電のみで行った場合、何らかの理由で日本に石油が入らなくなれば、発電することができなくなり、生活だけでなく、日本の経済も成り立たなくなるからである。

設問1 インターネットを利用して、課題に対する情報を得ました。このあとあなたはどのようにしますか？

- ア インターネットの情報は間違いもあるし、正しいものもある。ひとつの情報だけでなく、詳しい人に聞いたり、書籍で確認したりしてから課題を提出する。
- イ インターネットの情報は間違いもあるし、正しいものもあるが、ほとんどは正しいので、書かれてある通りに写して提出する。
- ウ インターネットの情報はデマや間違いばかりなので、得られた情報は意味がないので、自分で考えたものを書いて提出する。
- エ インターネットの情報は100%正しいので、書かれている情報を信用して、そのまま写して提出する。

あなたの選択

正しい行動とその理由

設問2 説明を聞いて分かったことや大切だと思ったことを書きましょう。

【キーワード】 ・デマや間違い ・書籍 ・他のサイト

インターネットの情報は、自分の目で確認を！

■みんなの掲示板

●ID242 みかんさん【2010/09/10 13:44:14】
ぶどうのいう通りやったら、死んだ…。ウソ教えたな！高い金魚もいっぱいいたんだぞ。弁償しろ！

●ID241 みかんさん【2010/09/10 13:43:10】
ありがとうございます！その通りやってみます(^-^)

●ID240 ぶどうさん【2010/09/10 13:42:18】
俺んちの金魚、お祭りの金魚だけど長生きして、かなりデカイよ。ポイントは水！水道水のままではダメ！少し多めに塩を入れるといいよ。

●ID238 みかんさん【2010/09/10 13:39:34】
お祭りの金魚って、すぐ死ぬんだよね。どうすればいいの？

『情報サイト8』 - 「情報モラル」指導を体験制に行うための教材システム
© 2006 岩手県立総合教育センター The General Education Center of Iwate

みかんさんは、ぶどうさんのアドバイスを100%信じて水槽に塩を入れてしまいました。結果、お父さんが大切に飼っていた、高価な金魚まで死んでしまいました。
みかんさんの行動は、どこが問題だったのだろうか???



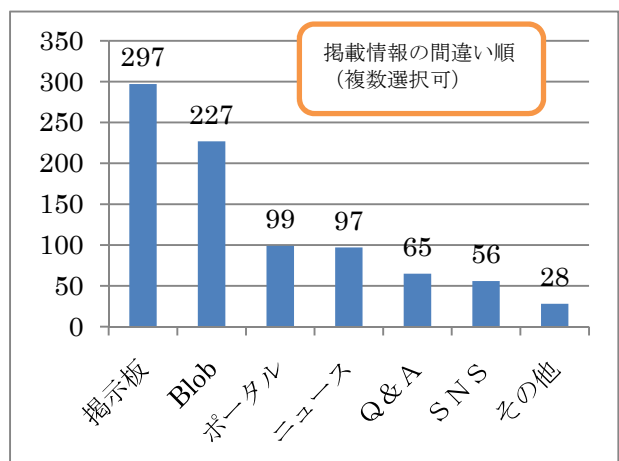
この例では、掲示板に金魚の飼育方法を質問し、回答された通りに実行したら大切な金魚が死んでしまったというものです。インターネットは、必要な時にすぐに情報を得ることができ、とても便利なものです。しかし、その情報を100%信じ、他のサイトや書籍などで調べることをしないと、間違った行動をとってしまうこともあります。

間違った情報には、見ている人を混乱させるために、意図的に間違った情報を掲載しているものと間違いに気づかずに情報を掲載している場合があります。情報を利用する側がその情報の真偽をしっかりと判断して利用することが大切です。

●意外と多いネット上の間違い情報！ 47.4%の人が間違い情報を経験！！

インターネットコムと goo リサーチが行った「インターネットにおける情報の信頼性」に関する調査によると、こういった情報の間違いを経験したことがあるユーザーは全体（1,041人）の47.36%（493人）で、間違った情報が掲載されていたのは（複数選択可）「ネット掲示板」がトップで、297人、2位が「Blog」の227人。以下、グラフ参照。

ネット上の情報を見極める必要性について「必要ある」というユーザーは98.37%で、前回から0.74ポイント上昇していた。間違った情報を目にしたユーザーが増えたことで、ネット上の情報を疑うユーザーも若干増えたようだ。
(デイリーリサーチ 2007年5月より)

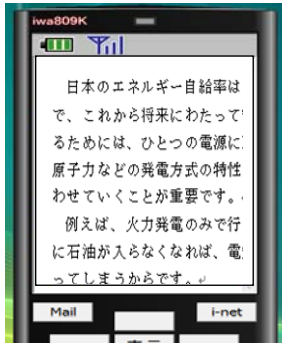


【今日のポイント】	【間違った情報への対処方法】
<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットの情報には、間違った情報も含まれているということ。 ・インターネットの情報については、自己責任であるということ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとつの情報だけでなく、別のサイトでも確認する。もしくは、その情報について詳しい人に聞いたり、書籍で確認したり必ず自分で調べること。

実施日 ____月____日 ()

____年 ____組 ____番 氏名

夏休みの課題と同じ内容を見つけました。 この情報をあなたはどのように利用しますか？



「なぜ、日本は数種類の発電方法を行っているのか」

日本のエネルギー自給率はわずか4%。こうした背景の中で、これから将来にわたって安定して経済的に電気を供給するためには、ひとつの電源に頼るのではなく、水力、火力、原子力などの発電方式の特性を活かし、バランスよく組み合わせることが重要です。

例えば、火力発電のみで行った場合、何らかの理由で日本に石油が入らなくなれば、発電することができなくなり、生活だけでなく、日本の経済も成り立たなくなるからである。

設問1 インターネットを利用して、課題に対する情報を得ました。このあとあなたはどのようにしますか？

- ア インターネットの情報は間違いもあるし、正しいものもある。ひとつの情報だけではなく、詳しい人に聞いたり、書籍で確認したりしてから課題を提出する。
- イ インターネットの情報は間違いもあるし、正しいものもあるが、ほとんどは正しいので、書かれてある通りに写して提出する。
- ウ インターネットの情報はデマや間違いばかりなので、得られた情報は意味がないので、自分で考えたものを書いて提出する。
- エ インターネットの情報は100%正しいので、書かれている情報を信用して、そのまま写して提出する。

あなたの選択

正しい行動とその理由

設問2 説明を聞いて分かったことや大切だと思ったことを書きましょう。

【キーワード】 ・デマや間違い ・書籍 ・他のサイト

指導のねらい

- ・インターネットの情報には、間違っただけでなく、間違った情報も含まれていることに気づかせる。
- ・ひとつの情報だけでなく、書籍や別のサイトで確認する必要性を理解させる。

展開

- 1 プリントを配布する。
- 2 実施日、名前を記入させる。
- 3 授業内容を想起させる。
「掲示板では、共通の話題やわからないことなどいろいろ教えてもらえるよね？」
- 4 設問1を考えさせる
「掲示板を〜どうしますか？」を読み、設問1を記入させる。
- 5 どの選択肢を選んだか確認する。
挙手もしくは指名。「本当にそうする？」など生徒と対話形式で進める。
- 6 左下の【解説】を説明する。
- 7 正しい行動とその理由を記入させる。
取ってほしい行動は、「ア」
「ア」以外はペンで訂正させる
- 8 設問2を書かせる。
「印象に残ったこと」「心に強く響いたこと」を書くように一言加える。
書き終わった人は、裏面を読んでいるように指示。
- 9 ポイントを確認する。
- 10 プリントを回収する。

【角評言説】 インターネットから情報を得ることは大変便利ですが、その情報は必ずしも正しいとは限りません。得られた情報の真偽は、自分で確かめることが重要です。その方法としては、詳しい人に聞いたり、書籍や他のサイトで調べたりすることです。間違っただけでなく、間違った情報やデマ情報で騙されたとしても自己責任となるので、慎重に行動することが大切です。

【今日のポイント】

- ・インターネットの情報には、間違っただけでなく、間違った情報も含まれているということ。
- ・インターネットの情報については、自己責任であるということ。

【間違っただけの情報への対処方法】

- ・一つの情報だけでなく、別のサイトでも確認する。もしくは、その情報について詳しい人に聞いたり、書籍で確認したり必ず自分で調べることを。

インターネットの情報は、自分の目で確認を！

■みんなの掲示板

●ID242 みかんさん【2010/09/10 13:44:14】
 ぶどうのいう通りやったら、死んだ…。
 ウソ教えたな！高い金魚もいっぱいいたんだぞ。弁償しろ！

●ID241 みかんさん【2010/09/10 13:43:10】
 ありがとうございます！その通りやってみます(^-^)

●ID240 ぶどうさん【2010/09/10 13:42:18】
 俺んちの金魚、お祭りの金魚だけど長生きして、かなりデカイよ。
 ポイントは水！水道水のままではダメ！少し多めに塩を入れるといいよ。

●ID238 みかんさん【2010/09/10 13:39:34】
 お祭りの金魚って、すぐ死ぬんだよね。どうすればいいの？

『情報サイト8』 - 「情報モラル」指導を体験的に行うための教材システム
 © 2006 岩手県立総合教育センター The General Education Center of Iwate

みかんさんは、ぶどうさんのアドバイスを100%信じて水槽に塩を入れてしまいました。結果、お父さんが大切に飼っていた、高価な金魚まで死んでしまいました。
 みかんさんの行動は、どこが問題だったのだろうか???



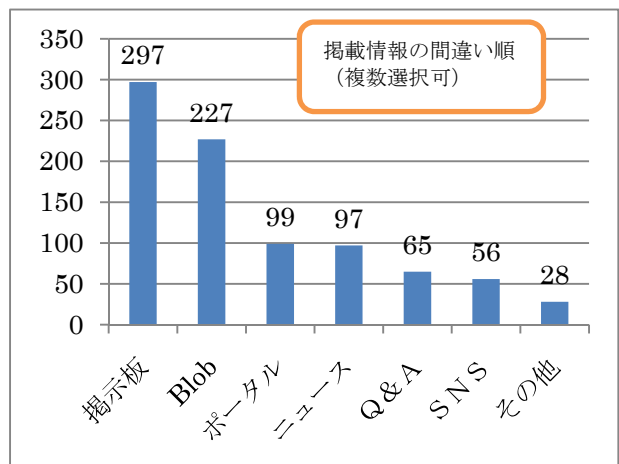
この例では、掲示板に金魚の飼育方法を質問し、回答された通りに実行したら大切な金魚が死んでしまったというものです。インターネットは、必要な時にすぐに情報を得ることができ、とても便利なものです。しかし、その情報を100%信じ、他のサイトや書籍などで調べることをしないと、間違った行動をとってしまうこともあります。

間違った情報には、見ている人を混乱させるために、意図的に間違った情報を掲載しているものと間違いに気づかずに情報を掲載している場合があります。情報を利用する側がその情報の真偽をしっかりと判断して利用することが大切です。

●意外と多いネット上の間違い情報！ 47.4%の人が間違い情報を経験！！

インターネットコムと goo リサーチが行った「インターネットにおける情報の信頼性」に関する調査によると、こういった情報の間違いを経験したことがあるユーザーは全体（1,041人）の47.36%（493人）で、間違った情報が掲載されていたのは（複数選択可）「ネット掲示板」がトップで、297人、2位が「Blog」の227人。以下、グラフ参照。

ネット上の情報を見極める必要性について「必要ある」というユーザーは98.37%で、前回から0.74ポイント上昇していた。間違った情報を目にしたユーザーが増えたことで、ネット上の情報を疑うユーザーも若干増えたようだ。
 （デイリーリサーチ 2007年5月より）



【今日のポイント】	【間違った情報への対処方法】
<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットの情報には、間違った情報も含まれているということ。 ・インターネットの情報については、自己責任であるということ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとつの情報だけでなく、別のサイトでも確認する。もしくは、その情報について詳しい人に聞いたり、書籍で確認したり必ず自分で調べること。

【ポイント】

- インターネットの情報には、間違った情報も含まれているということ。
- ひとつの情報だけでなく、別のサイトや書籍などでも確認すること。